

わがまちの「ちよつといい話」

NO. 53

「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○ 取り組み交流を！

十一月二十七日、「さ
さえ合うまち 語り合

い」が笠松中央公民館

で開催された。町内

で日々、活躍されて

いる福祉ボランテ

ィア、教育ボランテ

ィア、活力ある街づくりに取り組むN

P O 法人、自然保護や美化活動に取り

組む団体などから四十数名の方々が

参加。中学生から高齢者まで幅広い年

齢層の方々が、それぞれの活動をもと

に情報や意見の交流を行った。

○ ボランティア活動で

最初に、二つのグループから活動の

ようすを紹介いただいた。まず、オカ

リナ演奏を通じて、施設の方々とな

がりをもち続けておられる「オカリー

ナ」の活動について間宮信子さんにお

話しいただいた。次いで、木曾川右岸

「させ合うまち 語り合い」 人とのつながりこそ 原点！

の旧本流跡に残った河跡湖の自然保護

活動をされている「トンボ池を守る会」

の取り組みについて、可児幸彦さんに

お話しいただいた。いずれのお話も自

ら取り組む中で、人とのつな

がりが広まり、取り組みの喜

びも感じられ、活動の輪が広

がっていくお話であった。

○ 身近な町内で

続いて、作品を持ち寄って

交流を深めてきた「西町老人

会」の取り組みについて伊藤

清吾さん・馬場茂子さんから

紹介いただいた。紙ひもバン

ドを使った合掌造りや五重塔

の作品がきっかけとなり、円

空仏や仏像彫刻の作品など紹

介し合い、町内の人のつながりが一気

に深まったお話。県町からもラジオ体操や

リバーサイドの取り組みによる、身近な

人とのつながりづくりが報告された。

○ 井戸端会議で

後半は四つの井戸端グループに分か

れて意見交流。活動により取り組みの輪

が広がり仲間が増えた、ボランティアを

する中で喜びを感じた、活動の交流がで

きてよかったといった声が聞かれた。ま

た、中学生も地域の中でつながりがもて

るようになったか、ボランティア情報

をもっと知りたいといった声も聞かれ、

参加団体の関わりも深まった。



井戸端ごとに分かれて
情報と活動の交流をする